

瀬戸中だより 4月

令和6年度教育目標

令和6年4月17日
発行 瀬戸中学校
校長 近藤 太

令和6年度度の瀬戸中学校教育目標等を、次のように定めました。この目標を指針として日々の教育活動に取り組みたいと思いますので、保護者の皆さまにも十分にご理解いただけますよう、お願いいたします。

教育目標 生きる力を育む教育活動を推進することにより、よりよき生き方をめざす生徒を育成する

- 重点目標**
- 自他の生命や人権を尊重し、仲間を大切にする心を育てる。
 - 個に応じた指導を徹底し、自ら学ぶ意欲、能力を育む。
 - 望ましい生活習慣の確立をめざす。
 - 保護者や地域と連携し、生徒の安全確保に努める。
 - 生徒・保護者・地域・教職員が誇りと魅力を感じる学校づくりを進める。
 - 業務改善の推進に努め、風通しの良い職場環境づくりをめざす。

令和6年度 瀬戸中学校スローガン

夢・絆・感動・創造

— 自ら考え、行動し、成長する自立した生徒の育成 —

瀬戸中学校は鳴門市内の中学校の中で、生徒数がいちばん少ない小さな学校です。でも、大きな学校に負けないくらい、魅力あふれる学校です。各教科の授業はもちろんのこと、様々な行事や地域連携活動を通じて、「自立」と正しい生き方を実践するための「心づくり」を目標の中心に据え、生徒のみなさんをはじめ、本校に集うすべての人がつながり、感動や幸せを感じることができる学校をめざします。

令和6年度 ~27名の入学式~



4月9日(火)、令和6年度瀬戸中学校入学式を挙行了しました。元気な27名の新入生を瀬戸中学生として迎えました。希望に満ちあふれている今の気持ちを忘れることなく、学習やスポーツ、そして地域連携活動に、精一杯取り組んでくれるものと期待しています。

学校長が式辞の中で、これから夢と希望をもって、生き生きとした中学生生活を送ってほし

いとの願いを込めて、おもに次の3つのことについて話しました。

①命を大切にすること

命を大切にすることは「生きる」ということです。生きるとは「自分を好きになる」ことであり「仲間を大切にすること」でもあります。そしてそれは、みんなが「幸せになる」ことにつながります。みなさんの力でこの瀬戸中学校を幸せいっぱい学校にしましょう。

②夢を持ち続けること

人は夢や目標があると、勉強や部活動に集中して取り組み、生活が充実します。今は手に届かないと思うことでも、常に心に描いてみましょう。そして、今できる小さな努力を毎日続けてみましょう。それこそが、夢の実現への近道なのです。



③「正しい生き方とは何か」を考えて生活すること

自立した人は、自分の思うようにいかないことがあっても、人のせいにはしたり、誰かを傷つけたりしません。自分や相手のことを大切に思う心も同時に育つのです。瀬戸中学校に集う、すべての人が幸せや人の優しさを感じるために、みなさん一人一人が、一つ一つの言葉や行動を考えてください。それが、正しい生き方への一歩なのです。

定期テストの実施方法が変わります！

瀬戸中学校では、今年度よりテストの実施方法が変更されます。具体的には定期テスト(中間・期末テスト)がなくなり、かわりに単元テストと総合実力テストを実施することになりました。なお、実技教科(体・音・美・技家)のテストは従来通り実施します。

単元テストとは、単元(小さなまとまり)ごとに行う小テストのことです。例えば、数学なら「方程式」の授業が終われば単元テストをし、国語なら「走れメロス」の授業が終われば単元テストを実施するという具合に、学習のまとまりごとの小テストを積み重ねます。

では、なぜ「単元テスト」を導入するのでしょうか？みなさんは、今までのテストで、範囲が広すぎて困った経験はありませんか？テスト期間中に「〇〇の単元はテスト範囲が広いからあきらめた」という言葉を聞くことがあります。しかし、単元ごとに行うテストであれば、そのようなことはありません。小さなステップを一段ずつ登っていくことで、確かな力をつけることができるのです。また、何よりも自分がつまずいている内容にも気づくことができ、苦手克服もしやすくなります。

従来の定期テスト(中間・期末テスト)を廃止⇒単元テスト・総合実力テストを実施

- 単元テストとは・・・単元(小さなまとまり)ごとに行う小テスト
- 総合実力テストとは・・・学習した内容の定着と応用力をつけるテスト

1学期						2学期					
総合実力テスト①						総合実力テスト② 実技教科テスト					
基礎学力テスト			基礎学力テスト			総合実力テスト③			基礎学力テスト 総合実力テスト④ 実技教科テスト		
→ 単元テスト(単元終了ごとに実施) →											
5月 6月 7月 8月 9月 10月						10月 11月 12月 1月 2月 3月					

学習というのは、「小さな積み重ね」が非常に大切になってきます。その取組を通して、苦手な単元に気づき、そこで「今なら何とかできる」という気持ちを持って、分かろうと努力することが近未来を生き抜く力につながります。がんばりましょう！

対面式・部活紹介

4月10日(水)に対面式と部活動紹介を行いました。新入生入場の後、藤井生徒会長より歓迎と励ましの言葉が贈られました。そして音楽部・柔道部・野球部・男女卓球部、女子バレー部の先生からの紹介があり、最後に広田先生からの入部に関するお話がありました。1年生のみなさんは真剣に紹介を聞くことができました。



これから1年生は、部活動見学を行い、入部届を提出することで正式入部となります。早く運動場・体育館・武道館・音楽室などから生徒のみなさんの元気な声を聞くことができたらと願っています。

能登半島地震の災害見舞金を贈る！



本校の生徒が考案した鯛ドッグを徳島駅前のアミコビル地下にて販売したことは先月の瀬戸中だよりにて、お知らせしました。その後、生徒会を中心に能登半島地震の被害を受けた石川県への支援のための募金活動を行い、4月16日(火)に日本赤十字社徳島県支部において生徒会本部役員より鯛ドッグの売上金と合わせて、災害見舞金としてお渡ししました。

コミスクの推進～夢・心づくり応援隊の結成～

本校区は幼小中一貫教育の仕組みを活用して、様々な教育活動を行っています。あわせて瀬戸中校区はコミュニティスクール(学校運営協議会)として令和5年度よりスタートしていますので、協議会委員の皆さまや地域や保護者の方々と連携した活動をたくさん行っています。

そこで、昨年度まで学校の教育活動や地域の行事等でご支援いただいていた学校運営協議会の委員の皆さまを「夢・心づくり応援隊」と名づけ、引き続き次のような学校支援活動を行っていただく予定です。

〔具体的活動内容〕

- 総合的な学習の時間における連携(地域学習・防災訓練等)
- 学校内での見守り活動(行事への参加や授業参観)
- 登下校時の見守り活動(朝の立哨指導等)



生徒のみなさんも授業中や行事、地域の活動でお会いすることがあると思いますが、たくさんコミュニケーションをとって、いろいろな話題でお話してくださいね。